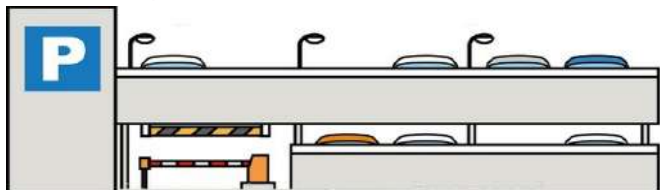


小田原 まさる

後援会だより



1台当り 🚗 400万円の 立体駐車場が“今”必要？

新人議員の活動報告

五月臨時会は議長等の役決め議会でした。当選間もない新人ではありましたが、**おだはら**は、予算審査常任委員会副委員長役を拝命させていただきました。

六月定例会議は一般質問と市長の政策を反映した補正予算審議で八人の新人議員はそれぞれの立場で一般質問を行いました。私の所属する「市民くらぶ」の大坪議員はスマホとLINEを連動させた、経費をあまり使わない新しい行政活動を提案されていました。

また「市民くらぶ」の研修会に毎回オブザーバー参加の益森議員は、「ふるさと納税事業」取り組み経験を活かし、同事業の方向性を具体的に示して今後の同事業による税収向上の切っ掛けとなる現実的な提案をしていました。

また同じオブザーバーで参加されている塩入議員も、建築専門家の立場で市に貢献する形で提案型の一般質問を行っていました。

おだはらは、その長い行政経験から公文書管理問題に着目し、管理徹底のための行政組織内の公文書管理の電子化を推し進める提案を行いました。

質問した結果、何年もかけて準備していた電子決裁システムについては、今年の三月から稼働体制に入っていることが分かり、電子

決裁等についても取り組み始めていることが分かりました。

今後はこれらが本来の目的に沿った内容で推移していくのが課題となりますので其方の面で注視していこうと考えています。

今回、市長選挙の後の定例会といたった補正予算が上程されました。

この中には、既に建築が決まったとされる加治木総合庁舎建設関係は計上されていませんが、加治木総合支所近くにある物産館を取り壊して、全天候型子ども館の建築や本庁舎隣接地に二階建立体駐車場、老朽化した加治木給食センター等が抱える問題解消のため、六千五百食対応の総合給食センター計画、高等教育誘致事業に関するニーズ調査なる調査経費が含ま

れていました。

この高等教育誘致に関しましては、議会中に新しい情報が入ってきましたが、「議案が提出された時点での情報で審議を行う」という議長を含む幹部市議の中の決定事項として俎上には上げない議会ルールで審査に入りました。

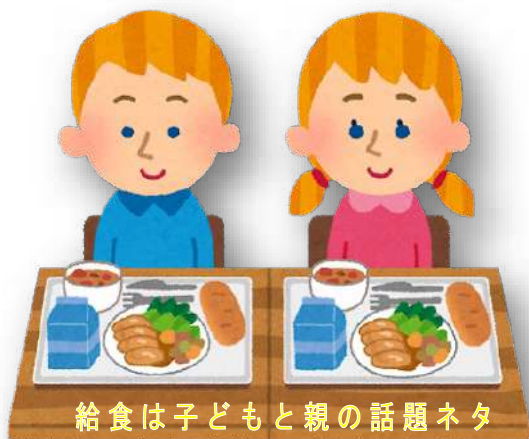
議会進行に不慣れな**おだはら**としては、その決定事項を遵守し審査に入りました。

補正予算の中にはここ一年で急騰した建築資材を使った本庁舎隣接の立体駐車場建設がありましたので、慎重な検討が必要との意見が「市民くらぶ」内外から出ていました。

九四台の駐車場を作るのに三億六千万円（一台当たり約四〇〇万円）もかけて作るより、近隣の土地（公示価格・坪十六万円）を千坪程度（一億六千万円）購入した方が倍の台数が駐車可能でしかも安価で目的を達成でき、霧島市のように各種イベントに使えるから良いのではという同僚議員の現実的意見も出てきました。

また高等教育機関設置については、四年前看護系の公立短大から大きくぶれ、詳細が判然としないサテライト教室誘致に焦点がズレてきています。

総合給食センターは建築法的解釈では「工場」に分類される様々



給食は子どもと親の話題ネタ